

高等部 保健体育 2段階 E球技

単元名:「ティーボール」

Mさんの本時の個別の指導目標（保健体育科2段階）

- ① 投げる腕を後方に引きながら、投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。 （知識及び技能）
- ② チームの勝利を目指すための課題について友達と意見交換したり相手に自分の思いを伝えたりすることができる。 （思考力・判断力・表現力等）
- ③ 活動に見通しをもち、自分の役割を意識したり、友達と協力したりして活動することができる。 （学びに向かう力、人間性等）

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

指導

- ・投げる際の体の使い方（投げる方向と体の向き、腕のスローイング、体重移動等）を段階的に指導する。

言葉

- ・技術に応じたキャッチボールのペアの工夫。
- ・友達と意見交換しながら高め合う場を設定する。
- ・ICT機器を活用し、自分の動きを修正する。

教材



単元構成



- ・全力で投げる、至近距離から投げる等、バリエーションを取り入れながら、「投げる」技能の向上を図る。
- ・単元のまとまりで、どの時間に、どのようなことを意識づけするのかを明確にする。欲張らない。
- ・枠を越えた力の言語能力の育成も図っていく。

<単元研究会のあと…>

「できるだろう」と決めつけず、きちんと目標を達成していたのか見ていかなければならないと感じました。今後は、バッティング動作の習得に向け指導していく。立ち位置や体の向き、またバットの振り方などを、動画を見せたり、声を掛けたりしながら指導を行うことで、バッティング技術の向上が期待されるのではないかと思います。技能の向上を高めながら、自信を付けさせたいです。

